

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「大府市学校教育の基本方針」「幼保児小中連携教育の指針」の基本理念とめざす子どもの姿を受け「知・徳・体」の調和のとれた児童を育成する。

校訓 自ら求めて たくましく 生きぬく子	⇒	めざす子どもの姿 ・自他の良さを認め、夢や希望をもち、自らを高めようと進んで学ぶ子 ・人を思いやる気持ちや、最後まで努力しようとする気持ちをもつ子 ・心身の健康の大切さを知り、その保持増進に主体的に取り組む子
--------------------------------------	---	--

(2) 経営方針

全職員が教育者としての使命と責任を自覚し、率先垂範・師弟同行の精神のもとで、生き生きとした創造的な教育活動を展開することによって教育目標の達成に努める。

ア 児童一人一人の「良さ」に目を向け、個に応じた指導の充実を目指し、成就感・達成感を味わわせることを重視した教育活動を展開する。

イ 安心して自己を語ることのできる学級を基盤に道徳教育を推進し、基本的な生活習慣、集団生活に必要なルールやマナーに気付かせ、豊かな心の育成に努めるとともに、教育活動全般において道徳的実践力を養う。

ウ 生活環境、学習環境としての校内環境を整え、健やかな心身の保持・育成を支える。

エ 健康教育の充実を努め、基礎的な体力、運動能力の向上を図るとともに、自ら進んで健康で安全な生活を送ろうとする態度や習慣の育成に努める。

オ 全職員が自らの言動を律し、家庭・地域と連携を深め、開かれた信頼される学校づくりを推進する。

カ 研修・研究体制を充実させ、幼保児小中連携教育の指針のもと、発達段階に応じた指導技術を磨く。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 自他の良さを認め、夢や希望をもち、自らを高めようと進んで学ぶ子

- ・個に応じた指導や、体験的・問題解決的な授業展開を工夫し、児童の学ぶことに対する内発的な動機付けを図ることで、児童の学習規範を確立する。
- ・教師が語り、児童に語らせ、児童同士に語り合わせる活動を通して、児童の気付きを言語化する。
- ・ICT機器を活用し、授業の導入や習熟、振り返りを工夫することで、基礎・基本の定着を図る。

イ 人を思いやる気持ちや、最後まで努力しようとする気持ちをもつ子

- ・児童が安心して自己を語ることのできる、共感的な人間関係で結びついた学級・学年づくりを進める。
- ・児童の活動を基盤に、他と協調しながら自己の夢の実現を目指そうとする心を育てる。

ウ 心身の健康の大切さを知り、その保持増進に主体的に取り組む子

- ・体力テストの結果をもとに、弱点補強に向けた指導を工夫して展開する。
- ・体育の授業づくり、健康教育、運動の生活化を目指した活動を通して、体力の向上や健康の保持増進に主体的に取り組む児童の育成に努める。

エ 開かれた、信頼される学校

- ・家庭、地域と連携した教育活動を推進し、児童の安全・安心を確保するように努める。
- ・学校、学年だよりやホームページなどで積極的に情報を発信し、双方向の情報交換を円滑に図る。

オ 教職員の多忙化解消

“大府 子ども・教職員を元気にするプロジェクト会議”と連携して、多忙化解消に努める。